

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

施策名 (小項目)	交通安全	コード	作成者	役職	市民課長
		01-04-01	氏名	野上 茂之	
			電話	64-1818	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	道路通行者の交通事故防止	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	全国的に交通事故死者数は減少傾向にありますが、事故発件数は依然として増加傾向にあります。特に、高齢社会が急速に進む中で、全交通事故死傷者に占める高齢者の割合が年々高くなっています。このような中で、市民一人ひとりが交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させることが必要であり、今後とも、家庭、学校、職場、地域などで、幼児から高齢者まで幅広い交通安全教育を推進し、交通安全意識の高揚を図る必要があります。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識の高揚 交通安全教育の実施 交通安全施設の整備 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

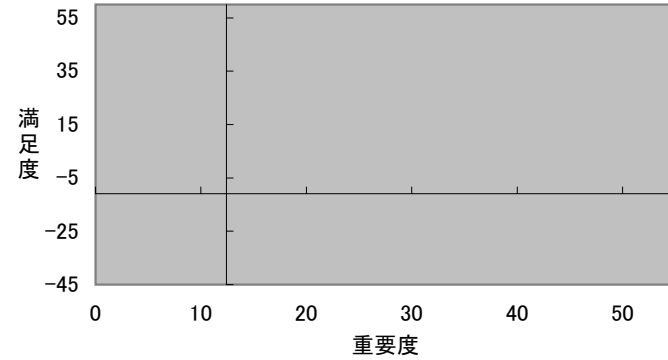
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

<見直し領域>
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>
現状の方向を継続

<検討領域>
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民の交通安全に対する意識は年々高まっており、要望事項等も様々なものとなっております。市としては、今後とも現状にあった有効な施策を展開する必要があります。
---------------------	---

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 交通事故発生件数(人身)	目標	件	250	250	250	210	200	180	交通事故発生件数(資料～交通年鑑)(100以下で達成)
	実績	件	261	275	219				
	達成率	%	104.4	110.0	87.6				
2 市民による事故発生件数	目標	件	75	75	70	65	60	55	交通事故1万人当たり換算(資料～交通年鑑)(100以下で達成)
	実績	件	80	75	68				
	達成率	%	106.7	100.0	97.1				
3 高齢者の交通事故被害件数	目標	件	60	60	60	60	50	40	65歳以上の人数(資料～備前警察署)(100以下で達成)
	実績	件	57	66	69				
	達成率	%	95.0	110.0	115.0				
4 交通マナーが守られていると感じている市民の割合	目標	%		100	100	100	100	100	市民意識調査
	実績	%		21.1	20.0				
	達成率	%		21.1	20.0				

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初予算(直接事業費)		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 交通安全啓発事業	A	交通安全啓発事務	その他単市	242			394			421	3,735	0.80	☆☆☆	\$\$\$	619
		交通安全運動実施事業	その他単市	390	7,539	0.88	146	7,603	0.92	143	2,716	0.46	☆☆☆	\$\$\$	60
		交通安全教室開設事業	その他単市	75			121			90	1,212	0.38	☆☆	\$\$	89
		交通安全用品設置事業	その他単市	155			73			32	126	0.02	☆☆	\$\$	73
2 交通安全団体支援事業	B	市交通安全対策協議会補助金	単市補助給付	330			200			150	875	0.09	☆☆☆	\$\$\$	100
		県交通安全母の会負担金	単市補助給付	19			19			19	15	0.00	☆☆	\$\$	19
		市交通安全母の会負担金	単市補助給付	145	2,867	0.35	120	3,673	0.42	80	245	0.03	☆☆	\$\$	50
		備前交通安全協会助成金	単市補助給付	859											
		都市交通安全対策協議会事務	その他単市	0			0								
3 交通安全施設整備事業	B	警察要望書提出事務	その他単市	0	2,330	0.26	0	1,088	0.13	0	213	0.03	☆	人件費のみ	0
4 交通安全施設整備事業	B	交通安全施設整備事業	その他単市	10,295	6,289	0.76	8,223	3,146	0.48	5,943	1,604	0.27	☆☆	\$\$	6,000
5 交通安全施設維持管理事業	B	交通安全施設維持管理事業	その他単市	1,115	3,466	0.44	1,103	4,385	0.59	975	877	0.15	☆☆	\$\$	2,300
6 市営駐輪場維持管理事業	B	市営駐輪場維持管理事業	その他単市	1,553	1,669	0.21	2,492	1,477	0.41	334	1,157	0.14	☆☆	\$\$	310
		交通傷害保険事務		212	2,635	0.32	203	2,988	0.39						
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
				15,390	26,795	3.22	13,094	24,360	3.34	8,187	12,775	2.37	9,620		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
公安委員会	信号等の規制に関する施設整備	交通事故の削減

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	3	交通事故発生件数は減少した。	3	前年度と比べ交通事故発生件数は減少している。さらに努力が必要である。
2 事業構成の適当性	3	妥当なものである。	3	交通安全対策事業であり妥当である。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	3	妥当な施策であり、継続して実施する。	3	支援団体と協力し事業推進が図られており有効な施策である。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	官民一体となって、交通安全意識を高めるための施策を展開することが必要である。(特に、幼児と高齢者を重点に)		交通事故の要因別を検証して取り組んでいくこと。	
二次評価者コメント	幼児と高齢者を重点に置いた交通安全教育を推進しており、交通安全意識の高揚が図られている。			基本施策への貢献度
役職 民生部長 氏名 鶴川 晃匠				3中立